

議会だより

遠野

遠野物語110周年
The 110th Anniversary of
The Legends of Tono 2020



Facebook



マチイロ



6月定例会

No.62
令和2年7月
〔発行〕
遠野市議会

主な内容

- ◆6月定例会の概要 P2
- ◆賛否の公表 P3
- ◆予算等審査特別委員会 P6
- ◆一般質問8人市政を問う P8



遠野物語の舞台
土淵町山口集落。
水車をついた米粉で、
きりせんしょをつくる
「おなごだちの会」の皆さん。

賛否の公表

賛否がわかれた議案等についてのみ掲載します。

議案名		賛成	反対	棄権
議案第47号	遠野市情報交流センター改修工事の請負契約の締結について	13	4	
議案第50号	公の施設の指定管理者の指定について（遠野ふるさと商社）	11	5	
議案第51号	公の施設の指定管理者の指定について（遠野ふるさと公社）	12	5	
議案第53号	修正案	4	13	
	原案	13	0	4
請願第1号	遠野市の河川への土砂流出防止に関する請願	16	1	

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
議員氏名	小松 正真	佐々木 恵美子	菊池 浩士	佐々木 敦緒	佐々木 僚平	小林 立栄	菊池 美也	萩野 幸弘	瀧本 孝一	多田 勉	菊池 由紀夫	菊池 巳喜男	照井 文雄	荒川 栄悦	安部 重幸	新田 勝見	佐々木 大三郎
議案第47号	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
議案第50号	●	●	○	除斥	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第51号	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	修正案	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●
	原案	棄権	棄権	○	○	棄権	○	○	○	○	○	○	○	棄権	○	○	○
請願第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

※議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対。
 ※除斥とは、議会における審議の公正を期すために、審議事件と一定の利害関係を有する議員は、当該事件の審議に参加することができないとする制度のことをいう。（地方自治法第117条）
 審議結果は、遠野市ホームページで確認することができます。 [遠野市議会 6月定例会 審議結果](#) [検索](#)



6月定例会

請願

◆請願第1号
 遠野市の河川への土砂流出防止に関する請願

〔請願者〕
 柏木平地区自治組織連絡協議会 会長 多田 裕

請願第2号

市内宿泊業者への支援金給付と市内宿泊需要喚起のための観光振興策に関する請願

〔請願者〕
 岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合遠野支部 支部長 蔵本 敏宏

請願第3号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2021年度政府予算に係る意見書採択の要請に関する請願

〔請願者〕
 岩手県教職員組合花北遠野支部支部長 高橋 克典

請願第4号

新型コロナウイルス対策に係る対応のため、遠野市に対して意見書の提出を求める請願

〔請願者〕
 一般社団法人遠野青年会議所 理事長 小笠原 正剛

議員 発議

◆発議案第1号
 市内宿泊業者への支援金給付と市内宿泊需要喚起のための観光振興策に関する意見書

◆発議案第2号
 新型コロナウイルス対策に対する意見書

◆発議案第2号
 新型コロナウイルス対策に対する意見書

策等の検討及び予算措置を講ずることについて要望する。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済に大きな影響を及ぼしており、市内の企業からはこのままでは立ち行かなくなるという声が多く聞こえている。

市では、新型コロナウイルス感染症対策本部を設置して、迅速に対応していただいているところであるが、市内の民間事業者の現状をさらに把握することに努めると共に、市民の声を聴き、新型コロナウイルスで打撃を受けている市民を救済するための政策立案とその実現に向けて要望する。

これらの発議案の可決により、令和2年6月19日付けで遠野市長あてに意見書を送付しました。

4月臨時会

令和2年4月臨時会を24日に開催しました。
 市が提出した条例3件、一般会計補正予算（新型コロナウイルス感染症対策として事業費総額約27億5千万円）を含む予算3件が提出され、すべて原案のとおり可決しました。

議案の修正と動議とは

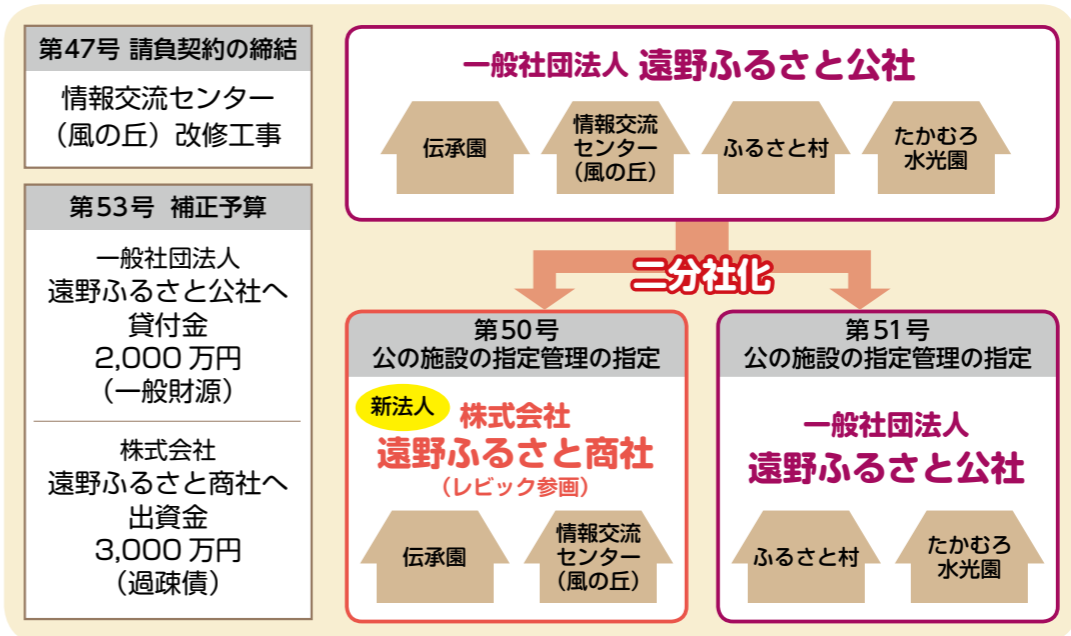
市長から議会に提出があった議案について、議会は修正することができます。修正したい議員は、修正案を備えた修正の動議を提出することになります。

修正動議は、原案に対する修正提案ということから、正確を期すため、あらかじめ文書で議長に提出することになっていきます。

修正動議は、議員定数の12分の1以上（遠野市議会の場合2人以上）の発議者を成立要件としています。

遠野ふるさと公社に係る

4 議案を審議・原案可決



(予算等審査特別委員会での審査内容は次のとおりです。)

- 新型コロナウイルス感染症を考慮して、風の丘の設計や改修計画を見直す必要は、現時点で変更は考えていない。感染症対策は運用面に対応したい。
- 商社と公社へ組織を二つにする必要があるのか。
- 地域経済活性化支援機構(レビック)、連携協定している金融機関等と協議し、この方針に至った。公社に残る2施設については、単年度の黒字化が難しい。まず商社が地域商社機能に特化した経営改革を先行して進めながら、観光振興も推進し経営改善を図り、3年後に商社に事業継承する狙いである。
- 新法人への市の出資比率が高いのでは。民間のノウハウ、新たな発想で利益を追求する経営体を目指す改革であり、出資額に関わらず過度な干渉はしない。
- 新法人設立や指定管理の手続きは適切か。
- 手続き上の問題はないが議会への情報提供が不足していた。謝罪するとともに、今後は情報共有を徹底していく。

令和2年度一般会計補正予算(第2号)

遠野ふるさと公社関連予算を削除する修正動議・否決

提案理由

一般社団法人遠野ふるさと公社に対する貸付金2千万円と株式会社遠野ふるさと商社に対する出資金3千万円が必要と認められないため、計5千万円の予算を減額した修正案を提出するもの。

(発議者)

小松 正真
佐々木 恵美子
荒川 栄悦

発議者に対する質疑

- 公社への貸付が認められない理由は。
- 発議者 今までも改革は行われてきた。赤字補填と捉えている。
- 商社への出資が認められない理由は。
- 発議者 商社と公社を2分する取り組みであること。

● どのように経営改革すべきと考えるか。
発議者 現場の職員と話し合い、一つの法人で経営改革を行った方が良い結果がうまれると考える。痛みやリスクを伴いながらも取り組むべき。

● 出資・貸付されない場合、遠野の物産振興、経済振興への影響をどう捉えるか。
発議者 そもそも遠野市の物産振興へ寄与しているのは、公社だけではない。市内に流れるお金を増やせるように、一度立ち止まり、しっかりとした経営改革をすべき。

● 最終日の本会議では、反対、賛成それぞれの立場から討論が行われました。(討論の内容は次のとおりです)

反対討論

小松 正真
佐々木 恵美子
荒川 栄悦

● コロナウイルス後は、観光客を含めた利用者の形態や社会環境は大きく変化する。この先10年を予測し、計画を見直したうえで、風の丘の改修を実行すべきである。

● 公社は、数年前から赤字経営を脱却できずに、現在に至っている。令和元年度末には、累積赤字は約7千万に至り資金はほぼ枯渇している。これまでの経営責任が明確になっていない状況は看過できず、市民の財産管理を託すことはできない。

な組織に市民の財産を託して良いとは思えない。
また法人設立や指定管理の手続きに、重大な不備があると考える。商社を追認してしまうことになるため、指定管理者の指定について反対する。

● 遠野市の経済を支えるのは、公社だけではない。市内の民間企業等に新型コロナウイルス関連の支援策を講じるべき時に、公社への資金投入の比率が高すぎる。市独自の民間企業等の支援策をもつと打ち出すべきである。

また市内には、産直経営など独自で運営している方々もいる。公平性はどうか。市民の理解、納得、共感を得られない。公社の経営責任を明確にしないまま、出資融資を続けることは認められない。公社と商社が一本化した形で経営改革を

賛成討論

佐々木 敦緒
小林 立栄
菊池 美也
萩野 幸弘
龍本 孝一
菊池 巳喜男

進めるべきであり、一歩立ち止まり、考える時間が必要である。



公社改革について活発な議論が交わされた

● 全国各地で地域経済の再建、事業者の事業再生の成果をあげている地域経済活性化支援機構(レビック)、金融機関等と連携協定を締結し、強固な推進体制を築いての経営改革であり、ビッグチャンス逃してはいけない。

● 公社は市内の物産、観光振興をけん引する事業者の一つとして、市内150もの農業者、事業者と取引しており、単年度6億円前後の市内市場をけん引するなど、地域商社としての役割は非常に大きい。
遠野風の丘の魅力アップというハード事業と経営改革、そして観光振興も確実に進め、地方創生の追い風を最大限に生か

● コロナウイルス感染症の影響に立ち向かっていかねければならない今だからこそ、未来志向での取り組みが必要である。
法人設立については軽率な手続きで行われているものではなく、金融機関等を巻き込みデリケートな交渉を行う中で、今定例会に提案されたものである。

● コロナウイルス感染症の影響に立ち向かっていかねければならない。市の責任は相当重い。議会も監視機能を働かせていかなければならない。

予算等審査 特別委員会



予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長多田勉議員、副委員長照井文雄議員）は、条例5件、予算1件、その他6件について付託を受け、審査を行いました。
今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、全12議案を原案のとおり可決・承認しました。

医療費助成の拡大 中学生も現物給付に

問 条例改正内容は。
答 これまで中学生が医療機関を受診した場合は、窓口で医療費受給者証と医療費助成給付申請書を提出することにより、2か月後以降に自己負担額を超えた医療費を保護者の指定口座へ給付（償還払い）していた。子育て支援のため、中学生も8月以降は県内の医療機関であれば、受給者証

の提示のみで自己負担額までの支払い（現物給付）となる。

問 現物給付の利点は。
答 医療費の窓口負担軽減が図られ、安心して医療を受けられる環境が整う。給付申請書の提出が不要となることで受給者の利便性が高まる。また、一時負担が少なくなることで、病院へのかかりやすさから早期治療による重症化・慢性化を抑制する効果が期待される。

新型コロナウイルス感染症 予防と対策を

サーモグラフィ カメラの購入

問 サーモグラフィカメラの設置場所、運用方法は。

答 市民会館、ふれあい交流センター、市民体育館、みやもりホール等の4カ所を想定している。運用方法については、マニュアルを策定するなど、今後検討していく。

問 1台の値段が高いと感じているが。

答 精度の高い機種を選定している。日々進化しているのにより良いものを導入したい。
問 導入後のメンテナンス、点検料などは。
答 設置時の費用は掛かるが、導入後のメンテナンス等の費用は掛らない。

生活物資の供給支援

問 事業の目的は。

答 新型コロナウイルス感染症リスクの軽減を図り、公共交通の利用頻度が高い市民に対して物資を供給する。

また、市内生産者、販売事業者の経営活性化を推進し、市民と産業界の元気回復効果を図る。

問 どのような取り組みか。

答 75歳以上の世帯と重度障がい者がいる世帯を対象。施設入所の方は含まない。対象者に、日用品などのリストを提供、そこから選択する仕組みとした。

乗用馬の生産を守る

問 事業内容は。感染症の影響による。

り、10月下旬に開催予定の乗用馬市場の購買率の低下が予測される。会場となる遠野馬の里の施設環境を強化・充実し、購買率の向上を図る。
具体的には、会場のMICE環境の整備、ホームページの充実や会場の装飾、購買者である各乗馬クラブ等を訪問して経営状況やニーズを調査する。

問 営業活動について、詳細な情報の提供が重要であり、現場で育成に携わっている職員に訪問していただく。畜産振興公社と協議しながら必要性があれば支援する。
問 市場の開催判断の時期は。
答 開催が難しくなった場合、生産者を守る新たな対策を講じなければならぬので、8月上旬までには判断したい。



一歳馬管理共助会での様子

市内経済の 元気回復に向けて

問 消費喚起支援事業費補助金の内容は。

答 遠野すずらん振興協同組合で取り組んでいるポイント発行及び商品券発行事業への補助を行い、遠野市内の消費喚起をする事業。
問 市民の声を聞いてさらに予算を増額できないのか。

答 今回は本年度の上半期分を想定している。

今後は国の政策と組み合わせながらさらなる予算化を検討している。

問 国が出した給付金を市内で消費してもらった仕組みが必要だと思えるが。

答 今回のポイント還元等の事業をしっかりと遠野テレビや広報などの媒体を使って周知し、市内の消費を喚起していきたい。

イベント等の 自粛緩和の方針は

問 新型コロナウイルス感染症が全国で流行して以来、県市でも多くのイベントが中止されたため、観光客も激減し、旅館や飲食業を中心に影響が出ている。市のイベント等、再開の目的は。

答 国や県を参考にしながら段階的に緩和していきたい。

問 岩手県は未だ感染者ゼロで、県民の誇り

である。行政が率先して自粛緩和していかないと、市民は困るのではないか。

答 大きなイベントは県外から観光客が来るのでコントロールできない。地域の行事については、県の方針で屋内の場合、収容率50%以内か100人まで、屋外の場合は十分な間隔をとって200人までが現在の目安である。目安は、段階的に緩和される方針なので、今後も市のホームページ等で周知していく。



30回の節目を記念する遠野納涼花火まつり
今年は見られない...



遠野まつりも中止。荒天以外での中止は第1回の昭和47年以降初めてとなる。

市民の声

このコーナーでは、市民のみなさまから議会に寄せられたご意見等のご紹介をします。（文章は、原文のままですが、長い場合は抜粋して掲載しています。）



子ども達の議会が開催されたことを知り堂々と意見を述べる姿が頼もしく感じました。子ども達が将来に向かって活躍して下さいますようお願いいたします。（松崎町・81歳・男性）

「子育てするなら遠野」という大スローガンにはいささか違和感を覚えます。妊婦さんが市外へ健診に行かずには地元で診ていただき安心して出産できたなら、どれほど気が楽かわかりません。今更ですが、産婦人科医の招へいをぜひ実現していただき、ひとりでも多くの子どもさんが市民になられます様に願ってやみません。（小友町・70歳・女性）



佐々木 敦緒 議員

一問一答方式

シカの捕獲強化対策は

市長 生息数の3割以上を捕獲し続けることが必要



縦横無尽に作られたシカ道

問 シカによる農作物被害が甚大となり耕作意欲を失っている農家もある。

答(市長) 近年は農作物ばかりか早池峰山の高山植物の被害、車両接触事故も多発していることなどから、捕獲圧を強めるため駆除、防除、人材育成を進めていく。

問 市内に生息するシカの数を見積りし、減少させるべき手段を講じているか。

答(市長) 平成26年環境省の調査数値から、市内には3000頭の生息と推定したが、現在は増加していると思われる。数を減らすためには、生息数の3割以上捕獲し続けることが必要

問 ことから、関係機関と連携し被害対策を強力に進める。

答(市長) 捕獲強化を進めるには有害鳥獣捕獲強化アドバイザーを登用すべきでは。

問 10年間も活用に至らなかったのは何故か。

答(市長) 平成23年の提案の中から「交通事犯者矯正機関の誘致」を検証したが、平成26年に誘致は無理との結論になり、その他を検討したが決め手がなく10年を経過した。

問 2度目となる提案であるが、今回提出された活用案の実施見込みについては。

答(市長) 複数あった提案の中で「昔ながらの資料等展示館」も地域振興に資すると感じていた。スピード感をもって方向性を見出したい。

問 県有財産である同校跡地、活用するに当たっては、県との交渉は。



活用の進まない旧情報ビジネス校跡

問 令和元年度の決算状況と赤字の原因は。

答(市長) 1780万円の赤字を計上した。新型コロナウイルスによる影響が大きかった。

問 ふるさと公社が借入する借金の返済の見込みは。

答(市長) 見込みのない中で借り入れではないが、コンプライアンスの関係で議会には公開できない。

問 経営計画の中で作られなければならない。更なる公金投入を避けるという強い意識で改革を進めている。

答(市長) ふるさと公社の組織変更を凍結して新型コロナウイルス対策に全力を尽くすべきだと思いがいかか。

コロナの影響に対して 不要不急の事業を廃止して 予算を回しては

市長 市民のニーズを把握して 対応を急いでいく

問 新型コロナウイルスが遠野市の経済にどのような影響を与えているか。

答(市長) 影響調査では、52%の事業者が「影響が出ている」と回答した。

問 リーマンショックなどを参考に、回復まで2年程度かかると想定している。

答(市長) 今後どんな遠野市独自の支援策を立てているのか。

問 本定例会には、家賃補助、高齢者や障がい

答(市長) 本定例会には、家賃補助、高齢者や障がい

問 影響はいつまで続くと考えているか。

答(市長) 本定例会には、家賃補助、高齢者や障がい

問 者への生活物資の供給、中小企業団体を対象とした消費刺激策を上程している。

答(市長) 者への生活物資の供給、中小企業団体を対象とした消費刺激策を上程している。

問 理事長である市長の経営能力について、自己評価は。

答(市長) 全力をもって経営改善に取り組みたい。

問 組織変更より各施設の経営改善が必要だ。赤字体制から脱却するための内部の改善を伺う。

答(市長) 経営改革の第2ステージはしっかりと

問 ふるさと公社の理事長である遠野市長は、ふるさと公社の経営がここまですべて悪化した責任をどのように感じているのか。

答(市長) 十分考えてそれなりの対応を考えなくてはいけないと思っている。

遠野ふるさと公社の改革について コロナ対策に全力を

市長 このタイミングで 第2ステージ 踏み込んでいく



風の丘 6月27日から仮設店舗の営業開始

員会と2度交渉した。有償譲渡の話もあったが取得方法等踏み込んだ話し合いはしていない。

旧遠野高校情報ビジネス校跡地活用の進捗状況は

市長 スピード感をもって方向性を見出したい



小林 立栄 議員

一括質問方式

- その他の項目
- 「新たな日常」の確立に向けた今後の市政運営について
 - 安心して社会経済活動ができる経済対策について



子どもは未来からの使者。教育の更なる充実へ

問……………
GIGAスクール構想について、効果的で安全に学べる取り組みは。

答(教育長)……………
ICTの活用を図るための教職員への研修、学校のセキュリティポリシーの見直し、児童生徒への情報モラル等の指導の徹底を図る。

問……………
オンライン学習環境の整備が必要では。

答(教育長)……………
インターネット環境が整っていない家庭への対応、オンライン授業等で活用できるコンテンツの作成について、遠野テレビと連携して協議・検討している。平常時においての家庭学習にも活用でき、学力向上施策に資する。

感染症から市民の安全を守る 危機管理体制は

市長 行政サービスを停滞させることなく、業務継続していく必要がある。

問……………
テレワークやオンライン会議の推進など行政のスマート化を進めるべきでは。

答(市長)……………
段ボールベットの活用や分散避難の推進等、避難所の過密を防ぐ対策は。

問……………
感染症対策を意識した訓練が必要では。

答(市長)……………
感染予防物品等を使った訓練を年内に実施予定である。

問……………
テレワークやオンライン会議の推進など行政のスマート化を進めるべきでは。

答(市長)……………
事務事業の見直しや業務の効率化を図るとともに、AIなどICTの活用を含め、県や他自治体の動向をみながら対応を検討する。

問……………
避難者の感染予防策、健康チェックの実施、密閉・密集・密接を回避する対策の見直しを進めている。感染症対策を踏まえた上で、避難所運営マニュアルを見直し対策を講じたい。

「GIGAスクール構想」と「こども本の森遠野構想」の重要性は

教育長

デジタルとアナログの融合を図った取り組み。「知・徳・体のバランスの取れた人間形成」の実現に大きな役割を果たす。

問……………
中心市街地活性化、まちづくり、観光等と結び付けた、こども本の森遠野構想の推進に取り組むべきでは。

答(市長)……………
整合性を図り、総合計画後期基本計画に位置付けたい。「本とふるさと 未来へつなぐ文化復興拠点」として、新しい遠野スタイルの協働のカタチを実現したい。

新型コロナウイルス感染症対策

市長 未知のウイルスとの闘い。コロナ後の新たな社会を築く。

問……………
「新しい生活様式」を市民に定着させる方策は。

答(市長)……………
総合戦略そのものは見直しの必要はないと捉える。しかし、実現のための手法や切り口は「新しい生活様式」を鑑みながら見直していく。

問……………
の認識は。

答(市長)……………
子育て世帯に対して「わらすっこ応援券」の拡充や、おむつや衛生用品等の「育児パッケージ」提供など、新たな誕生応援の仕組みを検討していきたい。

問……………
「新しい生活様式」を市民に定着させる方策は。

答(市長)……………
経験のない生活スタイルに戸惑いがあるものと認識している。経済活動と両立し段階的な対応を適切に講じる。

問……………
特別定額給付の対象外となる4月28日以降出生児への、公平性の確保に対する考えは。

過去5年間のわらすっこ基金の状況 単位：円

年度	増額	減額	年度末残高
H27	1,105,674	6,006,000	18,767,373
H28	3,286,780	4,547,000	17,507,153
H29	3,046,877	4,202,000	16,352,030
H30	2,304,746	3,849,000	14,807,776
R 1	6,388,053	7,745,000	13,450,829

過去5年間の出生数の平均 143.2人/年

年度	出生数
H27	164人
H28	130人
H29	132人
H30	164人
R 1	126人

- 「わらすっこ応援券」を利用(支払い)できるもの
- ①インフルエンザウイルスワクチン予防接種
 - ②ロタウイルスワクチン予防接種
 - ③一時保育利用
 - ④休日保育利用
 - ⑤病児等保育施設運営費一部負担
 - ⑥ファミリー・サポート・センター事業利用

児童生徒の学びを保障 学校のコロナ対策

教育長 可能な限り感染レベルを低減させ、教育活動を継続する。

問……………
差別・偏見・いじめ・誹謗中傷に対する配慮は充分か。

答(教育長)……………
自らの問題として差別・偏見・いじめの解消に努める能力や態度

問……………
児童生徒の命と安全を守るための設置者及び学校の役割と各家庭の協力について考えを伺う。

答(教育長)……………
これまでの教育活動の継続は、各家庭の理解と協力によるもの。学校の役割は予防対策の適切な実践。学校設置者である教育委員会はその実践の支援・助言を担う。学校の「新しい生活様式」を習慣化するため25項目を示し、チェックした結果を確認している。また、児童生徒の健康観察を毎日実施している。引き続き、学校と家庭、教育委員会が協力し、感染予防に取り組まなければならない。



菊池 美也 議員

(遠野令和会)

一問一答方式



菊池 浩士 議員
(遠野令和会)
一括質問方式

「緊急事態宣言」 解除後の経済再生は

市長 予防と再生の バランスが大切

問……………

経済の再生に何が必
要だと考えているの
か。

答(市長)……………

経済の再生のために
は、事業者の存続が第
一と考え、利子補給、
家賃補助等を実施し、
支援策を迅速に実施し
ている。

問……………

市内の飲食店や、宿

泊施設が事業を継続す
るにあたり、感染症対
策についての相談窓口
が必要と考えるが。

答(市長)……………

各業界団体から出さ
れているガイドライン
の周知徹底を図るた
め、観光協会、観光推
進協議会及び商工会を
通じて周知啓発を図つ
ていく。

問……………

イベントや地域の祭

りなどは、主催者に開
催の判断を任せるのは
難しい。やはり相談窓
口が必要と考えるが。

答(市長)……………

新しい生活様式の基
準に従って主催者に開
催の可否を判断してい
ただくこととなってい
る。
「新型コロナウイルス
相談窓口」か、小さな
拠点で相談機能が充実
している各地区センタ
ーに相談いただきた
い。
地域経済活性化の後
押しとなるよう、対応
にあたっていく。



修繕が決まった橋りょう

橋りょう長寿命化に伴う方針は

市長 早期措置段階の橋りょうについては、 順次補修工事を実施している

問……………

橋りょう点検結果等
により通行止めが生じ
る場合の方針は。

答(市長)……………

通行止めが必要な橋
りょうは、架け替え、
修繕、廃止(撤去)の
いずれかを、重要度、
交通量、経済性利用状
況の観点から橋りょう

下の施設(道路、河川、
鉄道)管理者の意向も
含めて、総合的に判断
している。

問……………

通行止めとなった事
例があれば、どのよう
に進められているの
か。

答(市長)……………

点検結果では、「早
期措置段階」の橋りよ
うであり、通行は危険
と判断した。
JR東日本の意向を
確認し、協議を重ね令
和2年度の実施対象事
業候補として協定締結
に向け、6月定例会に
工事に係る予算提案を
している。

問……………

工事完成までの工程
をどの様に考えている

のか。

答(市長)……………

財源確保、技術力の
向上、施設管理者との
速やかな協議の実施に
より、事業期間の縮減
を図りたい。

問……………

住民説明会などを開
く予定はないか。

答(市長)……………

お知らせの配布とい
う形態で周知を図りた
い。

問……………

困っている方に、も
っときめ細かい対応が
必要ではないのか。

答(市長)……………

場合によっては、臨
機応変な対応も必要と
なる。

遠野ふるさと公社の 経営改革に向けた取り組み内容は

市長 外部再生会社からスタッフを招へいし 組織の立て直しを図る

問……………

株式会社と一般社団
の2つに分けた理由は。

答(市長)……………

風の丘と伝承園を株
式会社化し収益性を高
める。水光園とふるさ
と村は公益性が高い施
設のため公社に残し、
赤字を抑制する対策を
進める。

問……………

株式会社と一般社団

の経理は独立採算か、
連結か。

答(市長)……………

会計上は独立採算で
あるが、従業員は新会
社から一般社団へ出向
させ、宣伝販売や施設
整備等の業務は連携し
効率化を図る。

問……………

ふるさと公社の累積
赤字は新組織にどう振
り分けられるのか。

答(市長)……………

昨年6月の「観光遺
産産業化ファンド」設
立に際し岩手銀行が出
資したことをきっかけ
に県内観光地への支援
が決まり、当市へもお
話を頂いた。ふるさと
公社の経営改革を通
じ、観光資源を生かし
た誘客を進め、市内観
光事業の振興に寄与す
るものと期待している。

問……………

地域経済活性化支援
機構(通称レビック)
が参入する経緯と期待
する効果は。

答(市長)……………

累積赤字は資本金の
欠損であり、新会社に
振り分けることはな
い。

問……………

ふるさと公社の累積
赤字は新組織にどう振
り分けられるのか。

答(市長)……………

昨年6月の「観光遺
産産業化ファンド」設
立に際し岩手銀行が出
資したことをきっかけ
に県内観光地への支援
が決まり、当市へもお
話を頂いた。ふるさと
公社の経営改革を通
じ、観光資源を生かし
た誘客を進め、市内観
光事業の振興に寄与す
るものと期待している。



公社に残る水光園と
ふるさと村の再生が課題
(写真:たかむろ水光園の曲がり屋)

JR遠野駅舎合築計画の現状と今後の在り方は

市長 工期短縮や費用圧縮の精査をJR東日本に依頼中である

問……………

JR遠野駅舎合築計
画に係る調査結果が未
だに示されていない
が、現在の進捗状況は。

答(市長)……………

現在JR東日本盛岡
支社において、工期の
短縮や費用の圧縮につ
いて精査をいただいで
いる途上である。

問……………

新型コロナウイルス
感染症の影響等を考慮
し、現時点でこの事業
の優先度はどの位置に
あるか。白紙に戻すこ
とも視野に入れた再検
討の余地は。

答(市長)……………

進む勇氣、立ち止ま
る勇氣、どちらもあ
ると捉えている。本年
度の総合計画後期基本
計画策定にあたり、国
土強靱化計画との整合
性も図りながら検討す
る。



萩野 幸弘 議員
(遠野令和会)
一問一答方式



佐々木 恵美子 議員

一括質問方式

その他の項目
● 財務状況から今後の遠野市は

国の特別定額給付(10万円) 基準日以降の新生児へ 「市の独自給付」の考えは

市長 何らかの支援は必要である

問

コロナ感染の心配もある中、新しい家族を迎えた子育て世帯。感染症予防から、面会が許されない、個室選択しての入院生活など、金銭的、精神的負担がこれまでと違う。特別定額給付金の基準とならなかった、4月27日以降、令和2年度に誕生した新生児、更には、来年以降にも、給付支援の検討が必要ではないか。

答(市長)

新型コロナウイルス影響の中、出産を迎えた子育て世帯に対して、何らかの支援は必要であると考えている。少子化ということへの対応という事も踏まえて検討を急ぎたい。現行おこなっている「わらすっこ応援券」の拡充による対応や出産祝いと子どもの健やかな成長を祈って、「育児パッケージ」を提供する取組みを検討していきたいと考えている。



「遠野のわらすっこ」 みんなで育ちを応援したい

災害時の避難支援についての 体制づくりは

市長 関係機関、団体と体制を整備する

問

現在の災害時避難場所の避難スペースは一人当たり2㎡。コロナ感染対策も踏まえての基準についての変更は。

答(市長)

社会的距離の基本的な事項に対応するため、仕切りの活用なども考えている。この6月の補正予算には、その仕切り等の備品購入を含み提案している。避難のあり方について、新型コロナウイルスへの対応も踏まえ、自宅避難や縁故避難という考え方も出てきている。

問

災害時にサポートが必要となる要支援者の

個別計画は作成されているか。

答(市長)

要支援者のうち、1560人が名簿に登録されており、個別計画も作成してある。避難計画作成にあたっては、関係機関、団体と避難支援の体制を整備する。個別計画は、住民、防災関係者、福祉関係者、行政の全てが個々の役割を理解し実践することが大切である。

ふるさと公社の役割と 新設商社との関係や今後は

市長 民間の参入で 一体的な経営改革を図る

問

ふるさと公社が果たしてきた、これまでの役割や重要性の見解は。

答(市長)

昭和59年の任意公社設立から、伝承園・ふるさと村・風の丘・水光園の順に管理施設を増やし、観光振興や消費経済の向上に寄与してきた。令和元年度までの売上総額は150億円を

問

赤字体質が続いてきた要因は。

答(市長)

震災による観光客の減少、消費増税による購買意欲の減少等の外的要因と、施設間の連携不足や経営改革体制

問

地域経済活性化支援機構(REVIC)や地元金融機関の支援を受け、株式会社化を図り商社を新設すること、既存公社を存続させる意義は。

答(市長)

REVIC参入のもと一体的な経営改革となる。公益性と収益性のバランスを取りながら、商社の民間ノウハウにより、観光資源である公社管理のふるさと村や水光園の改革を進めなければならない。

問

花巻農業協同組合旧宮守支店の用地等価交換から、これまでの経緯は。

答(市長)

平成25年2月に、当該用地と宮守総合支所内の旧宮守総合センターの用地を交換し、子育て支援のための住宅整備を計画した。

問

平成28年度には市総合計画後期基本計画につなげるべく、隣接する用地を取得した。

答(市長)

当該子育て支援住宅の、今後の建設スケジュールについては。

実施設計及び敷地造成測量設計の業務委託を予定。来年度は、造成工事、上下水道工事及び通路整備工事を実施し、令和4年度から6年度にかけて、計15戸の住宅を整備する。総事業費は概算で4億8千万円を見込んでいます。

宮守銀河子育て支援住宅の 計画進捗状況は

市長 令和4～6年度に 15戸建設整備する



宮守銀河子育て支援住宅が計画されている建設予定地



政務活動費を公表します

令和元年度政務活動費執行状況
(平成31年4月～令和2年3月)

議員の調査研究活動のために交付される「政務活動費」を下記のとおり公表します。交付額は1人につき60,000円(月額5,000円)で、執行率は91%でした。

支出費目別内訳

(単位:円)

	交付額	調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	支出合計	政務活動費分執行額	執行率
小松正真	60,000					19,280	19,280	19,280	32%
佐々木恵美子	60,000		15,000		19,800		34,800	34,800	58%
菊池浩士	60,000	63,233			7,411	23,940	94,584	60,000	100%
佐々木敦緒	60,000			13,750		49,404	63,154	60,000	100%
佐々木僚平	60,000					32,700	32,700	32,700	55%
小林立栄	60,000	15,769	33,933		5,967	10,380	66,049	60,000	100%
菊池美也	60,000	57,589			599	4,564	62,752	60,000	100%
萩野幸弘	60,000	35,689	33,680		2,360		71,729	60,000	100%
瀧本孝一	60,000	46,634				64,320	110,954	60,000	100%
多田勉	60,000	72,730					72,730	60,000	100%
菊池由紀夫	60,000				29,851	31,476	61,327	60,000	100%
菊池巴喜男	60,000	41,154	45,900			8,500	95,554	60,000	100%
照井文雄	60,000	47,294	45,900		41,949		135,143	60,000	100%
荒川栄悦	60,000		45,900			18,280	64,180	60,000	100%
安部重幸	60,000	72,729					72,729	60,000	100%
新田勝見	60,000	72,729					72,729	60,000	100%
佐々木大三郎	60,000		67,540		2,723		70,263	60,000	100%
浅沼幸雄	60,000	15,769				61,749	77,518	60,000	100%
合計	1,080,000	541,319	287,853	13,750	110,660	324,593	1,278,175	986,780	91%

※1人当たり交付額60,000円を超える支出については自己負担です。

「政務活動費」は、議員の調査研究、研修や市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動に充てられますが、交付額を超過して支出した場合は自己負担となります。なお、残額93,220円については、遠野市の歳入に返還しました。

3月定例会議会運営に係るお詫び

3月定例会本会議において、「時期を逸している」という誤認から、提出された補正予算の修正動議を却下する結果となりました。

遠野市議会では議長を除く全議員で特別委員会を設置していることから、「予算修正は原案と同時の審査が必要で、委員会審査後には受け付けられない」と誤認していたことが原因です。

このような結果となりましたことについて、修正案の説明が出来なかった議員及び市民の皆様にご迷惑をお詫び申し上げます。

今後は、地方自治法や会議規則等の関係法令にとり、より開かれた議会を目指し、公平、公正かつ厳正なる議会運営に万全を期していく所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

遠野市議会議長 浅沼幸雄

全国市議会議長会表彰 伝達式

市議会議員を通算25年以上務めた功績により、新田勝見議員が全国市議会議長会から特別表彰を受けました。



学んで 行動する 議会へ

市政調査会

調査日 令和2年5月26日
参加議員 17名

「いども本の森」の舞台、 旧三田屋を調査

世界的に有名な建築家安藤忠雄氏からの提案を受けた「いども本の森」構想について、整備場所となる旧三田屋の現況と事業の進捗状況について、市民センター文化振興担当部長から説明を受けた。旧三田屋は、道路面の開口も裏庭も広い。外観は古民家のイメージ

ジを残し、屋内は木のぬくもりが感じられ、子ども達がワクワクする明るい空間にしたいとのこと。
また、店舗裏には土蔵があり、お祭りの詰所としての活用等、地域の方々も利用できる構想を検討していくとのことである。
今後は安藤忠雄建築研究所と覚書を締結し、令和3年7月オープンする計画であった。

新型コロナウイルス感染症対策等に係る取り組み状況について調査

10回以上にも及ぶ感染症対策本部の取り組み状況、6月定例会に上程予定の経済対策事業、予防対策事業としての一般会計補正予算と市内施設の利用状況等を調査した。
その他、5月11日から、あすもあ1階に商業総合相談窓口を設置し、職員が対応しているとの説明があった。



議会運営委員会

タブレット導入等検討特別委員会

研修日 令和2年3月24日
参加議員 議会議長 菊池 由紀夫
副議長 瀧本 孝一
議員 佐々木 僚平 菊池 巴喜男
タブレット導入等検討特別委員会
小林 立栄 小松 正真
荒川 栄悦

タブレット端末を活用した議会運営について 久慈市議会にて研修

久慈市議会の議会基本条例には、ICTの積極的な活用が明記されている。
【ICT導入事例】
● 会議へのパソコン類の持ち込みを許可
● 各会派室にノートパソコン導入
● 議事中継システムを更新
● 議会事務局SNSを開設
● タブレット保有者の増加に伴い講習会を開催

● 本会議場でプロジェクトターを活用
● 議会棟に無線LAN回線を整備(Wi-Fi接続を可能に)
● 平成28年に全議員がタブレットを所持
● 議会スケジュールの共有管理体制を整備(クラウド版のグループウェア)
● 議会運営におけるタブレット端末の活用
● 会議開催通知の電子化
● ペーパーレス会議
● スケジュールの電子共有化(委員会、会派等で個別に設定可)

導入のメリットは、会議等の日程確認が容易となり、また、資料等の送受信が早くなり迅速に情報共有が図れる。デメリットは、慣れるまでの操作、購入費通信費の負担、端末機器によっては資料が読みにくいことである。
今回の行政視察は、遠野市議会におけるタブレット端末等の導入にあたって、最終的な先行自治体・議会の視察研修であった。今後、具体的に議員間での協議が進むことになる。
Wi-Fi環境の強化、端末の選定、導入負担や月々の通信経費をどのようににするか等、政務活動費や視察研修のあり方を含めた議論が必要である。



わたしのひとこと

すが た たく お
菅 田 琢 郎 さん (綾織町)

「将来は実家の牧場を継ぐのかな」と学生の頃は、ぼんやりと描いていた未来像。社会人になり数年、忘れてしまっていたが、北上から遠野に新築、引っ越しを控えていたある日、妻の「一緒に牧場の仕事をしてほしいよ」という一言をきっかけに、就農を決意しました。

せっかく自分で農業をするのなら、父の跡を継ぐのではなく、さらに大きなことをしたい。そう考えた私は、親元ではなく、自分だけの農業経営を始めました。

私の目指す農業は、賢く、活気のある、かつこいつい「スマートな農業」です。

私たち若い農家が頑張る姿を見て、子ども達が「将来の夢は農家になることですよ」と言ってくれるような、そんな農業をしていきたいです。

まだ一年生で何もわからない私ですが、これから学んでがんばっていきますので、温かく見守っていただければ幸いです。

このコーナーは、市民の皆様のみちづくりの夢や希望などを掲載していきます。掲載を希望される方は、お気軽に当事務局までお申し付けください。

発行責任者／遠野市議会議長 浅沼幸雄
編集／広聴広報常任委員会
〒028-0592 岩手県遠野市中央通り9番1号
TEL 0198-62-2111

ホームページ／<https://www.city.tono.iwate.jp/>
E-mail gikai@city.tono.iwate.jp
Facebook <https://www.facebook.com/tonoshigikai>
印刷／株式会社 東海印刷所

遠野 議会だより クイズ

その① 今年、遠野物語は
発行〇〇〇周年を迎えます。

その② 今定例会条例改正された医療費助成
の拡大、〇〇〇も現物給付となりました。

その③ 4月臨時会での新型コロナウイルス
感染症予防対策事業費等は総額は〇〇億
5千万円でした。

欄に適切な
言葉を入れて
下さい

【応募方法】 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキやメールでご応募ください。議会だよりを読んだ感想や、議会へのご意見もお書き添えください。ご意見等は、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

応募者の中から、抽選で3名の方にすずらん商品券1,000円分をお贈りします。
(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

【あて先】 〒028-0592 遠野市中央通り9番1号
遠野市議会事務局 宛

【メールでも応募できます!!】 gikai@city.tono.iwate.jp

【しめきり】 令和2年8月21日(金) (当日消印有効)

～議会だより61号クイズの答え～
その① 172億5千万円 その② GIGA その③ わらすっこ



この議会だよりの中に答えがあるので、
最初から最後まで読んでみてください

編集後記

市議会だよりのデザインを、リニューアルしました。

ユニバーサルデザインを取り入れ、活字タイプと大きさ、色彩の工夫で、より読みやすい紙面づくりを目指しました。また、議案を図案化して、伝わる工夫も挑戦してみました。

いかがでしたか。「伝わる、議会だより」を市民の皆さんと作っていきたくて考えていますので、紙面についての感想も、ぜひ、お寄せください。

全国の移動自粛が緩和され、人の往来が見られます。

コロナ前の社会が、いかに満ち溢れていたかと振り返り、また、制限が伴い不自由と感じる中でも、視点を変えることで満たされることに気づく。都会のような便利さや華やかさはない遠野ですが、私たちは、大地、水、木々、風、遠野の大自然の浄化作用によって守られているのではないかと、遠野の誇るべき財産に想いを寄せています。
(恵美子)

広聴広報常任委員
委員長 小林 立栄
副委員長 佐々木 恵美子
委員 小松 正真
委員 菊池 浩士
委員 池田 美也
委員 新田 勝見



議会への提言をお待ちしております!